

平成30年度 農作物（水稲）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

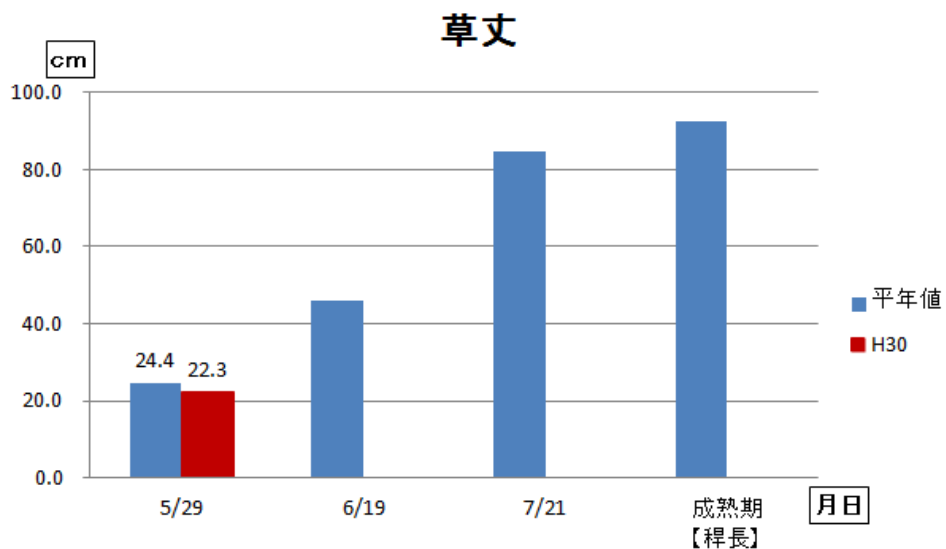
1. 水稲の生育および病虫害発生調査結果（第1回）

1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月12日	5月25日

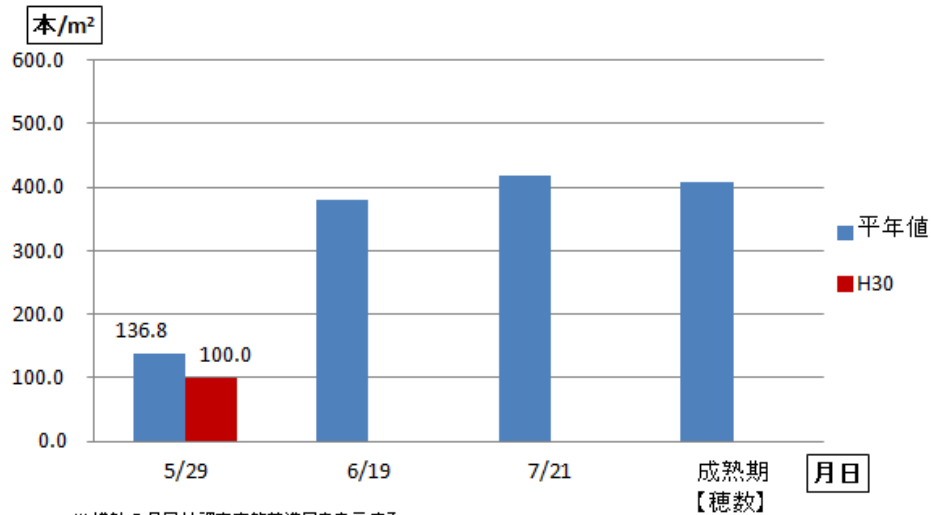


↑ 圃場の様子

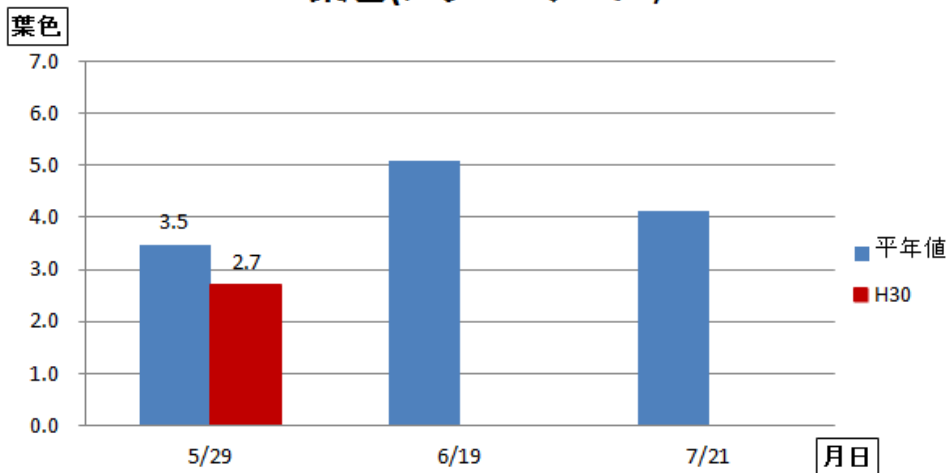


※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

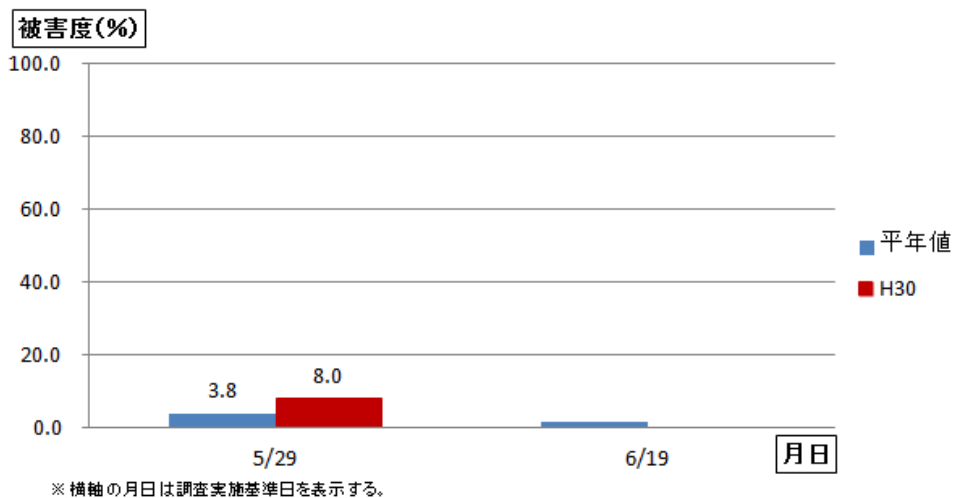
茎数



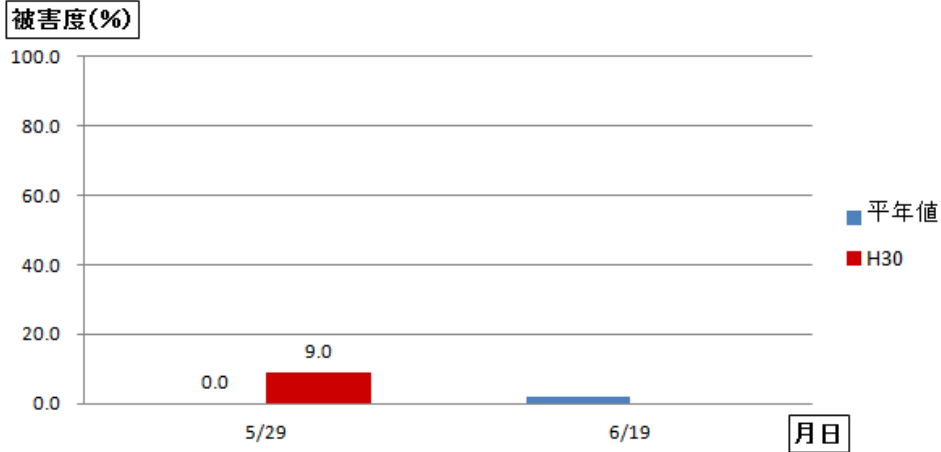
葉色(カラースケール)



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 25～29 年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

平年に比べ、草丈は平年並、茎数は少なく、葉色は淡くなっています。

気象庁の 1 か月予報によると、今後気温は高く、日照時間は少ない～平年並とされており、茎数の増加が予想されるので、中干し適期を逃さないように注意してください。「コシヒカリ」では、茎数 330 本/m² (畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本) の確保を確認したら、速やかに中干しを開始してください。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻 (排水口) を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査結果について

イネミズゾウムシによる食害が少発生ながら、平年より多くみられています。イネミズゾウムシの一般的な発生はすでにピークを迎えているため、現段階で問題となる被害程度ではありません。

イネドロオウムシについても食害が少発生ながらも、平年より多く見られています。5 月下旬現在、県内のイネドロオウムシの発生状況は平年並となっていますが、今後梅雨の時期となり曇雨天が続くと発生が助長されます。発生状況に注意し、食害が特に目立つ場合は防除してください。

2) 茨城町の調査結果

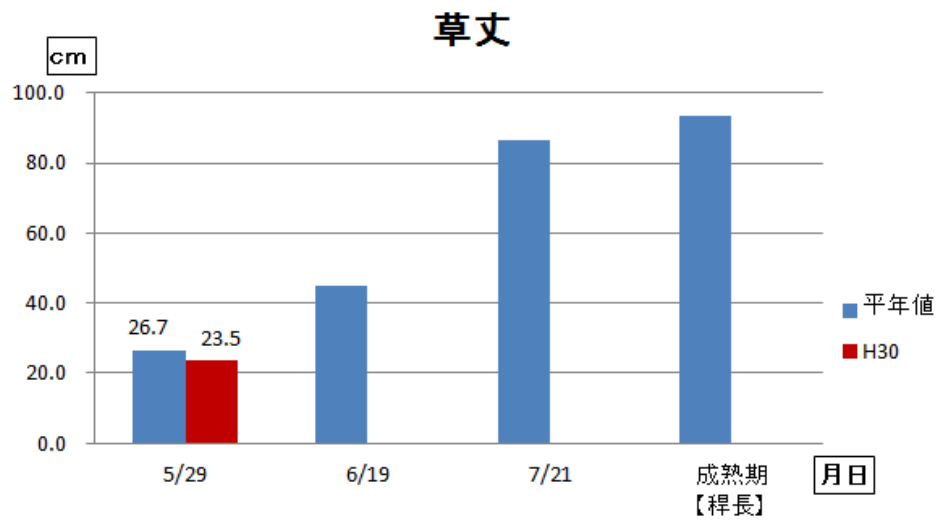
調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月12日	5月25日



↑ 圃場の様子

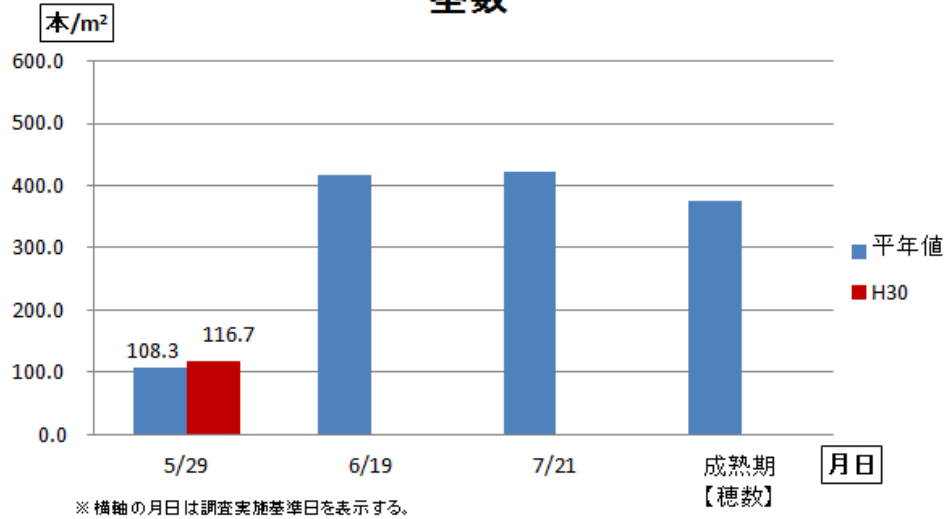


↑ イネミズゾウムシ

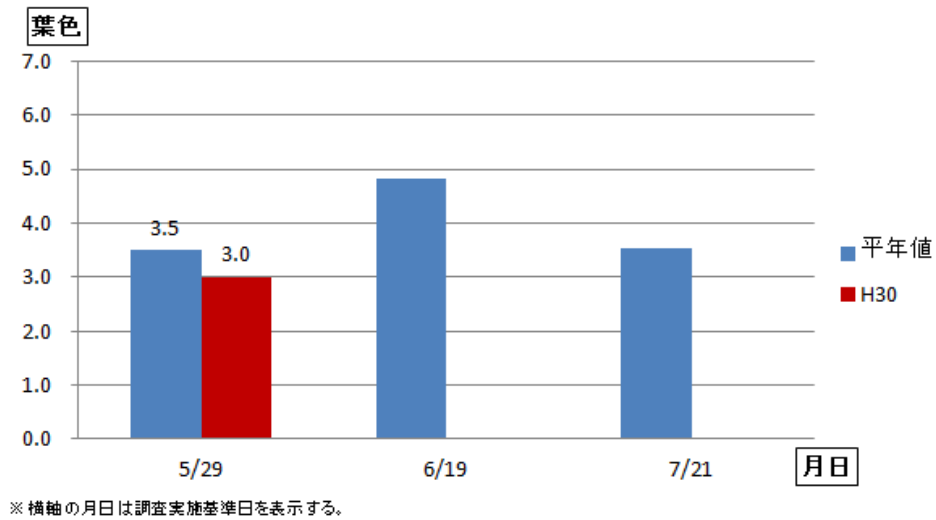


※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

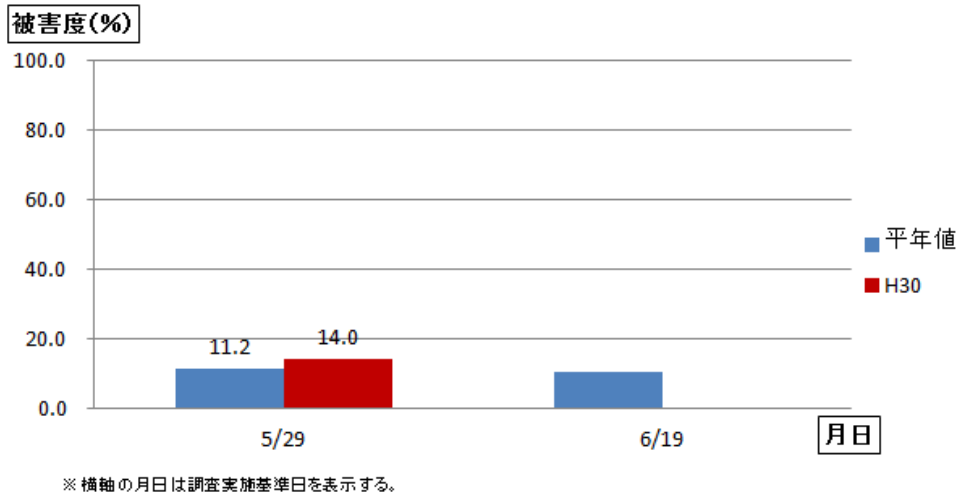
茎数



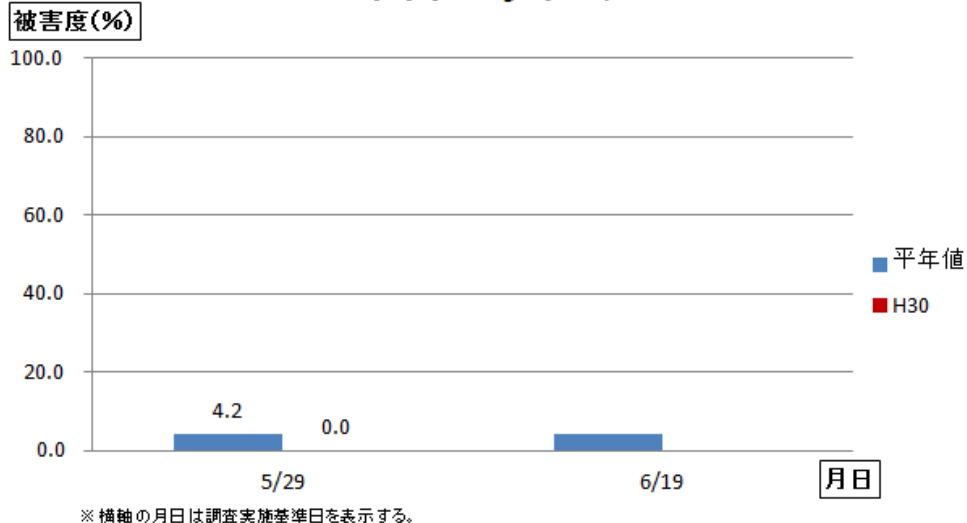
葉色(カラスケール)



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ



○被害度は該当虫による葉の食害の度合い
○平年値は平成 24～28 年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

平年と比べ、草丈は低く、茎数は平年並、葉色はやや淡くなっています。

気象庁の 1 か月予報によると、今後気温は高く、日照時間は少ない～平年並とされており、茎数の増加が予想されるので、中干し適期を逃さないように注意してください。「コシヒカリ」では、茎数 330 本/m² (畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本) の確保を確認したら、速やかに中干しを開始してください。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻(排水口)を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査結果について

イネミズゾウムシによる食害が少発生ながら、平年より多くみられています。イネミズゾウムシの一般的な発生はすでにピークを迎えているため、現段階で問題となる被害程度ではありません。

調査時点ではイネドロオウムシの発生は見られていませんが、曇雨天が続くと発生が助長されるので注意します。食害が特に目立つ場合は防除してください。

2. 次回調査予定日

6月19日